

公益社団法人 日本地下水学会

2021年度 第6回 理事会議事録

1. 開催日時：2021年10月16日（土） 13:30～18:00

2. 開催場所：Web会議

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：15人

○：出席、×：欠席

理事	石田 聡	○	理事	伊藤 浩子	○
理事	蛭原 雅之	○	理事	遠藤 崇浩	○
理事	小野寺 真一	○	理事	坂本 大	○
理事	杉田 文	○	理事	鈴木 弘明	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	竹内 真司	○
理事	辻村 真貴	○	理事	徳永 朋祥	○
理事	中川 啓	○	理事	中島 誠	○
理事	古川 正修	○	—	—	—

5. 出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○	監事	深田 園子	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：理事 徳永 朋祥

代表理事 徳永 朋祥は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況

- ・ 9月16日：IAH日本支部小委員会出席
- ・ 10月11日：「地下水の事典」の委員会に出席
- ・ 10月14日：総務委員長、前JABEE担当古川理事とJABEE対応について討議

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 蛭原 雅之

10. 理事会資料

- ・ 資料 1 : 2021年度 第6回理事会 議事次第
- ・ 資料 a (9種) : 審議資料
- ・ 資料 b (7種) : 協議資料

- ・ 資料 c (12種) : 報告資料

【審議事項】

第1号議案：シンポジウム「トンネルと地下水（仮）」等について（企画委員会：資料a審議_03(企)）

- ・ シンポジウム「トンネルと地下水（仮）」およびセミナー「土砂災害と地下水（仮）」の内容について審議し、現時点で現場対応が続いている問題よりも、環境評価等の結論が出ている案件や対応が終了した現場を取り上げて地下水管理の観点から議論する方向で、企画委員会で再検討することとした。

第2号議案：（継続）エブスコ・データベース収録について（編集委員会：資料a審議_06_1,2(編)）

- ・ 前回理事会で挙げた質問事項についてEBSCO社へ確認した結果の説明があり、契約締結の可否について審議した。
- ・ 大きな金銭的な負担はなく、メリットを得られる会員がいることから、今後同様のデータベース会社から要望を受けた場合の対応検討も含めて、編集委員会で契約締結に向けた手続きを進めることとなった。

第3号議案：（再）投稿規定の投稿資格者について（編集委員会：資料a審議_06_3(編)）

- ・ 投稿規定における投稿資格者について前回理事会で議論した結果を踏まえ、編集委員会から再提案があり、以下の変更点が承認された。
- ・ 投稿規定の投稿資格者に関する記載を「筆頭著者及び責任著者は、会員でなければならない」とし、また「筆頭著者は責任著者を兼ねることができる」ことを加筆する。

第4号議案：MDPIパートナーシップについて（編集委員会：資料a審議_06_4(編)）

- ・ MDPIとパートナーシップの交渉を行うことが承認された。

第5号議案：「現場透水試験法の海外技術の普及活動」研究グループにおける出版に関する費用支出について（調査・研究委員会：資料a審議_07(調)）

翻訳出版にあたり原著出版社への翻訳出版料として60万円が必要となるため、当初予算10万円を60万円に増額したいとの要望があり、承認された。

第6号議案：会費未納会員の会員資格喪失処分（会計委員会：資料a審議_11(会)）

- ・ 4名の資格喪失処分について承認された。

第7号議案：入退会の承認（総務委員会：資料a審議_13(総)）

- ・ 7名の正会員、1名の準会員について入会を承認した。

【協議事項】

若手支援・男女共同参画(YEPS)委員会：（資料b協議_10(YE)）

<次年度以降の若手地下水研究助成の継続についての確認>

- ・ 本年度は一部の資金の拠出元を従来の特定寄付金Bから一般会計に変えて実施しており、来年度以降も同様に継続してよいか確認した。
- ・ 若手育成、学会の活性化などメリットの多い事業であることから、来年度以降も継続することとし、予算

上の位置づけについては会計委員会と調整する。

- ・ これまで寄付金で成り立ってきた事業であることから、寄付者へのお礼と、継続事業としての中間報告を作成する。

<2021年秋季講演会 若手セミナー会告案（※旅費補助金申請の件）>

- ・ 外部資金（中辻創智社助成金）を活用して秋季講演会若手セミナーで実施する「旅費補助」について、会告への案内文の記載内容について協議した。
- ・ 対象者の要件、選定基準、宿泊費等の上限、消費税等の取扱い、一部負担の場合の領収書の処理等について委員会にて会告を修正の上で発出する。

<2020年度 若手地下水研究助成奨励賞の表彰について>

- ・ 2020年度 若手地下水研究助成奨励賞の表彰式について、12月3日（金）12：30から予定している優秀講演賞の表彰式の前後で行うこととした。

会計委員会：（資料b協議_11(会)）

<2022年度第1次予算案（事業計画案）作成のお願い>

- ・ 2022年度第一次予算案の作成スケジュールについて通知された。

<上期監査（事業報告、中間決算）について>

- ・ 11月4日に上期監査を予定している。

調査・研究委員会

<「地下水の事典」の编者について>

- ・ 「地下水の事典」を地下水学会編とすべきか、ワーキング編とすべきかについて協議した。
- ・ 著者への依頼文は学会長名である方が望ましく、学会編として手続きを進めて問題ないことを確認した。

総務委員会：（資料b協議_13(総)）

<JABEE 対応について>

- ・ 4学会による現行のJABEE地球・資源分野の運営体制の見直し案について、過去の理事会における議論を確認したうえで、前回理事会に引き続き意見交換を行った。
- ・ 地下水学会としてどのような体制で対応できるかを、会長、総務委員長、前JABEE担当理事で協議して次回理事会で提案する。

【報告事項】

企画委員会：（資料c報告_03(企)）

- ・ 現場調査講習会アンケートを、メールリストによるURLの一斉送信、学会誌へのQRコードの掲載により実施する。
- ・ 10月29日に予定している「地下水のサロン」の申し込み状況が報告された。
- ・ 「図説 日本の湧水」編集委員会の初回委員会を10月中に開催する予定である。

行事委員会：（資料c報告_04(行)）

- ・ 2021年秋季大会の行事内容の詳細予定が報告された。
- ・ 現地開催を行うかどうかは、一般受付開始までに決定する。

- ・ 2022年以降の大会について、地中熱セッションで地熱学会会長に講演していただくなどの交流を検討予定である。
- ・ 今回は、ハイブリッド方式で初めて開催するため外国人（英語）セッションを設置していないが、今後は行う方向で予定している。

渉外委員会：(資料c報告_05(渉))

- ・ 「地下水のきほん」 オンライン講座の開催予定について報告された。
- ・ 講座のアーカイブ化について、会計的な面も含めて事務局と相談の上で検討する。

編集委員会

- ・ 地下水学会誌第63巻第4号の編集状況について報告された。
- ・ 会告、学会活動報告などの原稿締め切り（10月19日）が通知された。

調査・研究委員会

- ・ 「現場透水試験法の海外技術の普及活動」研究グループは、8/29に全体会議を開催し、各班における進捗状況を確認し、その後の幹事会で出版計画について詳細を決定した。
- ・ 「地下水学の最先端 (state of the arts) および典型的(classic) 学術・技術の調査取り纏め」調査・研究グループは、幹事会、出版社（朝倉書店）との協議を経て10月16日に全体WGを開催し、「地下水の事典」（600ページ、2024年4月発行予定）としての出版、および各編の章立て等を決定した。
- ・ 「地域地下水情報データベースの拡充」調査・研究グループは、9月14日に全体ワーキングを開催し、今後の作業計画を確定した。次回は、沖縄大会時に開催予定である。

市民コミュニケーション委員会：(資料c報告_08(市))

- ・ 絵本「みず」の海外版（中国語、韓国語、ベトナム語）の出版状況について報告された。
- ・ 湧水めぐり2021が11月6日に延期になったこと、現在、開催に向けた準備を進めていることが報告された。
- ・ 前回理事会以降にQ&A コーナーにあった質問（1件）について、質問と回答の状況が報告された。

広報・IT委員会：(資料c報告_09(広))

- ・ 前回理事会以降の活動状況（HP「新着情報」の更新、理事会議事録の掲載）、および2021年9月のアクセス状況が報告された。
- ・ HPのアクセス数は右肩上がりに増えている。外国からのアクセス数自体は大きく増えているわけではないが、東南アジア地域からのアクセスが増えている傾向がある。

YEPS委員会：(資料c報告_10(YE))

- ・ 「2020年度 若手地下水研究助成 奨励賞」審査結果を通知したことが報告された。

会計委員会：(資料c報告_11(会))

- ・ 10月11日現在の会員数および会費納入状況、および9月30日現在の収入・支出状況が報告された。
- ・ 会費変更による収入増とオンライン化による支出減に伴い、会計状況は前年度に比べて余裕がある。

総務委員会：(資料c報告_13(総))

- ・ 友澤孝前事務局長の退任（9月30日付）および今村聡事務局長の就任（10月1日付）が報告された。
- ・ 市民公開講座「湧水さんぽ」は共催として開催される。
- ・ 次回、第7回理事会は 2021年12月18日（土）13:30-17:00を予定する。

その他：

- ・ 特別会員へのサービス向上について意見交換を行い、地下水学会としてどのようなサービスや方策がとれるかについて、総務委員会と事務局を中心に引き続き検討することとなった。
- ・ 次回理事会の開催方式についてはハイブリッドも検討することとし、後日、ハイブリッドとした場合の参加方式についてメールで意向確認し、現地参加予定の人数を把握して準備を進める。

以上をもって議事を終了したので、議長は18時00分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2021年11月8日

公益社団法人日本地下水学会 理事会